



平成22年5月10日

各 位

上場会社名 株式会社 オーバル
代表者 代表取締役社長 近藤 健二
(コード番号 7727)
問合せ先責任者 取締役兼執行役員 管理部門部長 昨間 英之
(TEL 03-3360-5061)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,200	△260	△210	△240	△11.37
今回発表予想(B)	9,900	△10	140	10	0.46
増減額(B-A)	700	250	350	250	
増減率(%)	7.6	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	14,157	536	516	385	18.28

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,400	△195	△120	△140	△6.63
今回発表予想(B)	8,600	△85	60	△50	△2.32
増減額(B-A)	200	110	180	90	
増減率(%)	2.4	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	12,191	288	318	246	11.68

修正の理由

主として、韓国や中国経済の回復にけん引された子会社の業績が、鉄鋼や石油関連において予想以上に早い回復をみたこと、シンガポールにおける子会社の業績も、システム関連の一部凍結解除を受けて予想を上回る改善がみられたこと、などにより連結業績は大幅に前回発表を上回る見通しとなりました。

個別においても、平成22年初めから、環境関連設備投資需要の回復による予想以上の改善があり、雇用調整助成金の受給や昨年より取り組んでいた構造改革による損益分岐点の引き下げ効果により、業績の改善が見込まれます。

以上のような背景から、業績予想を修正いたしました。

※上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により実績の業績予想とは予想数値が異なる場合があります。

以 上